

福岡禅会俳句会 二月句会 結果

天 春浅き古室の里の薄煙
 天 風花の一さし舞へば跡もなく
 (浄淵) (宗道)

地 寂寥の足立連山斑れ雪
 (白雲)

地 散り落ちて地面を染める寒椿
 (無傳)

地 今朝もまた眼鏡どこかと古希の春
 (白堂)

人 梅が香の送り迎える寓居かな
 (宗道)

人 朝市や群がる人の息白し
 (西田)

人 岡病のにごり湯熱き夜寒かな
 (白雲)

寒開けて固き蛇口の緩みけり (霊峰) 1

梅が香にひたりさすらふ城址かな (宗道) 2

やまあいにたなびく煙春浅し (西田)

古葉伍湯気一秒の夢路かな (篠原)

玄海の重き雲往く寒さかな (門屋) 1

寂寥の足立連山斑れ雪 (白雲) 4

熔岩望む里の小径や草萌ゆる (浄淵) 1

玄関に豆散り残る春の朝 (白堂) 2

豆撒きは止めてついでむ男の子かな (寶州) 1

節分や孫の数ほど福拾う (徹心) 2

梅の花寒さ戻りて身をすくむ (無傳)

梅の花香もとめてにしひがし (西田)

三郡山の岩壁噛みつくや大氷柱 (篠原) 1

これしきを大寒とよぶ曆かな (門屋)

梅が香の送り迎える寓居かな (宗道) 3

節分ける遠き想いや迫な豆 (白雲)

箱崎の鳥居の松の春の月 (徹心)

廃校に陽のさしている余寒かな (霊峰) 2

杉の花まだかまだかと開花待つ (寶州)

熔岩山に下萌見ゆる晴間かな (浄淵)

紅淡き君がスカート春立ちぬ (白堂) 2

散り落ちて地面を染める寒椿 (無傳) 4

つくしんぼ香につられによきよきと (西田) 1

木漏れ日や明障子に蜂すがり (徹心) 1

笹鳴きの声は近けど姿見ず (寶州)

瑠瑠の看板錆びて春浅し (霊峰) 2

春浅き古窯の里の薄煙 (浄淵) 5

梅咲くやなにとはなしに他家の見る (篠原)

藪の辺に緑寄添う野水仙 (門屋) 1

大胆に開ける薔薇や寒最中 (宗道) 1

春立つや潮防釣場の人の群れ (白雲) 1

朝市や群がる人の息白し (西田) 3

3月句会は参禅会中に行うことになりました。少し間が狭いですが、3月2日(日)までに投句をお願いします。霊峰九拝

34 はうれん草どこかおしやれな菜の名前 (門屋)

35 初氷湖面に走る幾何模様 (宗道) 1

36 岡病のにごり湯熱き夜寒かな (白雲) 3

37 恋猫や夜の座禅の所作乱れ (徹心)

38 黄砂迫りつつあり建国記念の日 (霊峰)

39 快晴に雲雀さえずり風に乗る (寶州)

40 下萌や杖引く足のいと軽き (浄淵) 2

41 朝まだき組たる脚の凍てつきて (白堂)

42 霜柱畑一面湯気が立つ (西田)

43 朝夕の日の出日の入り春を告ぐ (無傳)

44 やさしきは罪滅ぼしか春の月 (篠原) 1

45 風花の一さし舞へば跡もなく (宗道) 5

46 園丁の軍手の白く春近し (門屋) 2

47 春朝や影の行き交う濃霧かな (白雲)

48 破障子手水所の氷解け (徹心)

49 立春の木綿豆腐の白さかな (霊峰) 2

50 花びらに残す爪痕メジロかな (寶州) 2

51 春浅し萌黄のスーツ求めけり (浄淵) 2

52 今朝もまた眼鏡どこかと古希の春 (白堂) 4

